

志小安全・防災だより



R元.5.27 NO.8
安全・防災担当：早坂 潤

6年生の防災の勉強がスタートしました！

6年生は、総合的な学習の時間に「防災マップを作ろう」のテーマの基に学習を始めています。ここでは、防災マップ作りをメインとしているのではなく、東日本大震災を境に大きく変わろうとしている南三陸町のまちづくりについて学んでいくものです。その過程には、地域の歴史、過去に襲った災害、地域の方々の思い、現在のまちづくりの方向性などを実際に自分たちで地域を歩き、見聞することで、自分たちが住んでいるまちのすばらしさや今後自分たちにできることを見付けていく学習です。6年生は、昨年の11月に本校で行われた、「南三陸を愛する教育」の公開研究会において南三陸町が本国だけでなく世界から注目されている理由について詳しく調べ、他の学校や地域に発信してきました。その探究力を生かし、今度は6年生としてのレベルで自分たちから地域に働きかけながら学習を進めていきます。最初の学習では、取り崩された昔の志中大橋の写真から地域の方々の思いを考えたり、今まで当たり前のように目にしていたものが、町の歴史を語る貴重なものであったことなどに気付いたりしながら、学習課題を展開していきました。



学校の屋上から、まちの復興の様子がどのように進んでいるかを自分の目で確かめました。



菊地先生がドローンを飛ばし、校舎よりも高い位置から町の様子を撮りました。



教室に戻り、屋上から見た町の様子を東西南北に分けて気付いたことを発表しました。

八幡川のこの部分は、ある目的のために作られたものだそうです



志中大橋から見える八幡川の小さな滝のようになっている部分に、古い取水口があります。ここから取り入れられた水は、昭和の初めに旭製糸工場の工業用水として使われていたそうです。また、



この水路は、現在工事中のくろしおグラウンドの辺りで三本に分かれ、町の防火用水としての役目も果たしていたそうです。まもなく河川工事が入り、取り除かれるとのことです。